

大戸千之教授 略歴 業績目録

略 歴

- 一九四二年七月 広島県に生まれる
一九六五年三月 京都大学文学部史学科西洋史学専攻卒業
一九七〇年三月 京都大学大学院文学研究科西洋史学専攻博士課程中退
一九九四年三月 博士（文学、京都大学）

（職歴）

- 一九七〇年四月 京都大学文学部助手（一九七二年三月まで）
一九七二年四月 立命館大学文学部助教授（一九八四年三月まで）
一九八四年四月 立命館大学文学部教授（現在に至る）

（学内役職歴〈全学役職および学部役職〉）

- 一九八八年四月 文学部調査委員長（一九八九年三月まで）
一九九一年四月 文学部二部協議会主事（一九九三年三月まで）
一九九五年四月 文学研究科主事（一九九六年三月まで）
一九九八年四月 大学協議員（二〇〇〇年三月まで）
二〇〇〇年四月 総合情報センター副センター長（学術情報担当）（二〇〇二年三月まで）
二〇〇三年四月 文学研究科長（二〇〇四年三月まで）
二〇〇四年四月 文学部長（二〇〇五年三月まで）

(学会における活動)

史学研究会
日本西洋古典学会
日本西洋史学会
立命館史学会

業績目録

■著書■

『ヘレニズムとオリエント―歴史のなかの文化変容―』ミネルヴァ書房、一九九三年。

■論文および概説■

- 「セレウコス朝の支配とオリエント人―アンティオコス三世時代の場合―」『西洋史学』七九号（一九六八年一〇月）、四三―六七頁。
- 「Priene 出土碑文にあらわれる Pedieis について」『西洋古典学研究』二〇号（一九七二年三月）、七九―八七頁。
- 「ヘレニズム時代の都市と土着住民―初期セレウコス朝の都市建設・植民を対象として―」『史林』五六卷一号（一九七三年一月）、一―二六頁。
- 「ヘレニズム時代史」中山治一編『大学ゼミナール 西洋史』法律文化社、一九七三年、第一章五節、四九―五三頁。
- 「ラオイとカトイコイ―ヘレニズム時代史の一側面―」『立命館文学』三六四―三六六合併号（一九七五年十二月）、一―三二頁。
- 「ポリュビオスの *tyche* 観について」『立命館文学』（立命館大学文学部創設五十周年記念論集）三八六―三九〇合併号（一九七七年一〇月）、三八一―三九六頁。
- 「ポリュビオスと司馬遷の歴史思想」『西洋古典学研究』三二号（一九八三年三月）、五四―六五頁。
- 「ヘレニズム時代における文化変容（一）」『立命館文学』四五七―四五九合併号（一九八三年九月）、一二―四八頁。
- 「ヘレニズム時代における文化変容（二）」『立命館文学』四八五―四八六合併号（一九八五年十二月）、一〇八―一四一頁。

「ヘレニズム時代における文化変容(三)」『立命館文学』(立命館文学創刊五百号記念論集) 五〇〇号(一九八七年三月)、四〇五〜四二六頁。

「(回顧と展望) 一九八六年の歴史学界(ヨーロッパ―古代ギリシア―)」『史学雑誌』九六巻五号(一九八七年五月)、二九二〜二九六頁。

「トゥーキユデーデース」「クセノポーンとポリュビオス」松本仁助・岡道男・中務哲郎編『ギリシア文学を学ぶ人のために』世界思想社、一九九一年、第V章一節(B)・(C)、一九三〜二〇五頁。

「ギリシア文化とヘレニズム文化」藤縄謙三編『ギリシア文化の遺産』南窓社、一九九三年、第二章、四九〜七六頁。

「ポリュビオス・アリストテレス・トゥーキユデーデース―歴史学と文学のあいだ―」『立命館文学』(瀬原義生教授退職記念論集) 五三四号(一九九四年三月)、一八〜三四頁。

「アレクサンドロスと後継者たち」「ヘレニズムの社会と文化」伊藤貞夫編『古典古代史』放送大学教育振興会、一九九五年、第七章・第八章、七三〜九二頁(改訂版『古典古代の歴史』二〇〇〇年、第七・第八章、八二〜一〇一頁)。

「ヘレニズム時代の『コスモポリタニズム』について」『立命館文学』(立命館大学文学部創設七十周年記念論集) 五五一号(一九九七年一月)、一四一〜一六五頁。

「セレウコス朝史の研究とプロソポグラフィ」『立命館文学』(末川清教授退職記念論集) 五五八号(一九九九年二月)、二〇〜三三頁。

「ヘレニズム時代における文化の伝播と受容―地中海東部諸地域におけるエジプト神信仰について―」歴史学研究会編『古代地中海世界の統一と変容』(地中海世界史1)、青木書店、二〇〇〇年、第三章、八九〜一一六頁。

「歴史叙述における『事実の正確さ』について」『立命館文学』(長田豊臣教授退職記念論集) 五九七号(二〇〇七年二月)、一一〜二二頁。

■科学研究費補助金報告■

「イソクラテスとデモステネス」『変革期における政治と思想の関係』昭和五一・五二年度科学研究費総合研究(A)による研究成果報告書(研究代表者 大下尚一)、一九七八年、五〜九頁。

「ヘレニズムとオリエントの民衆」『欧米史上における民衆運動の諸形態とその発展過程』昭和五二・五三年度科学研究費総合研究(A)による研究成果報告書(研究代表者 瀬原義生)、一九七九年、五〜一〇頁。

「ヘレニズム世界におけるギリシア神の浸透」『欧米史上における「宗教意識・祝祭と民衆生活」に関する総合研究』昭和六〇〜六二年度科学研究費補助金(総合研究(A)) 研究成果報告書(研究代表者 瀬原義生)、一九八八年、一〜五頁。

「古典期ギリシアにおける教育と文化」『欧米史上における教育・文化の比較的研究』昭和六三〜平成元年度科学研究費補助金(総合研究(A)) 研究成果報告書(研究代表者 望田幸男)、一九九〇年、八〜一三頁。

「ヘレニズム期オリエントにおける国家的集権化と Regionalism」『欧米史上における国家的集権化と Regionalism の分析』平成三・四年度科学研究費補助金（総合研究（A））研究成果報告書（研究代表者 長田豊臣）、一九九三年、一三～一五頁。

「ヘレニズム期における異文化接触と文化変容」『西洋古代における習俗・文化と社会意識』平成三・四年度科学研究費補助金（総合研究（A））研究成果報告書（研究代表者 桜井万里子）、一九九三年、四三～四七頁。

「古代ギリシアにおける労働・職業観」『欧米史上における「身分・階層と職業」の総合的研究』平成七～九年度科学研究費補助金（基盤研究（A））研究成果報告書（研究代表者 望田幸男）、一九九八年、六七～七二頁。

「使用語彙の分析によるギリシア人の歴史思想の比較研究」平成九～一一年度科学研究費補助金（基盤研究（C））研究成果報告書（研究代表者 大戸千之）、二〇〇〇年。

「古代ギリシアにおける障害者の問題」『欧米史上におけるマイノリティとその迫害・差別・救済の比較的研究』平成二～一四年度科学研究費補助金（基盤研究（B））研究成果報告書（研究代表者 中谷猛）、二〇〇三年、一五～二二頁。

「ポリュビオスにおけるグローバルな視点とローカルな視点」『西洋の歴史に見る「グローバル・スタンダード」と「ローカル・アイデンティティ」』平成一四～一七年度科学研究費補助金（基盤研究（A））研究成果報告書（研究代表者 芝井敬司）、二〇〇六年、一三～一八頁。

■書評

「P. Klose, *Die völkerrechtliche Ordnung der hellenistischen Staatenwelt in der Zeit von 280 bis 168 v. Chr.: Ein Beitrag zur Geschichte des Völkerrechts*, München, 1972」『西洋古典学研究』二三号（一九七五年三月）、一〇四～一〇六頁。

「J. Onians, *Art and Thought in Hellenistic Age: The Greek World View 350-50 B. C.*, London, 1979」『西洋古典学研究』三〇号（一九八二年三月）、一三五～一三七頁。

「藤縄謙三『歴史学の起源—ギリシア人と歴史—』力富書房、一九八三年」『史林』六七巻四号（一九八四年七月）、一六二～一六七頁。

「A. Kuhrt and S. Sherwin-White (eds.), *Hellenism in the East: The Interaction of Greek and Non-Greek Civilizations from Syria to Central Asia after Alexander*, London, 1987」『西洋古典学研究』三七号（一九八九年三月）、一二六～一二八頁。

「弓削達・伊藤貞夫編『ギリシアとローマ—古典古代の比較史的考察—』河出書房新社、一九八八年」『史学雑誌』九八巻二二号（一九八九年二月）、七九～九一頁。

「P. Green (ed.), *Hellenistic History and Culture*, Berkeley, 1993」『西洋古典学研究』四三号（一九九五年三月）、一三二～一三四頁。

「ヘレニズムの理解について—金澤良樹氏の書評を読む—」『史学雑誌』一〇四巻三号（一九九五年三月）、一一八～一二三頁。

「フラウイオス・アツリアノス、大牟田章訳註『アレクサンドロス東征記およびインド誌』東海大学出版会、一九九六年」『西洋古典学研究』四六号
(一九九八年三月)、一三九～一四一頁。

■辞典項目執筆■

『世界大百科事典』平凡社、一九八一年。

『新編 西洋史辞典』京大西洋史辞典編纂会編、創元社、一九八三年。

『事典 イスラームの都市性』板垣雄三・後藤明編、亜紀書房、一九九二年。

『集英社世界文学大事典』世界文学大事典編集委員会編、集英社、一九九六年。

『角川世界史辞典』西川正雄他編、角川書店、二〇〇一年。

『古代オリエント事典』日本オリエント学会編、岩波書店、二〇〇四年。

■その他の著作(エッセー等)■

「荒れる海」『西洋古典叢書月報』一五(一九九九年四月)、四～七頁。

「西洋史学と実証」『西洋古代史研究』一号(二〇〇一年三月)、九～一〇頁。

「地域文化の伝統と宗教(1)」『西洋古典叢書月報』三二(二〇〇二年一月)、五～六頁。

「地域文化の伝統と宗教(2)」『西洋古典叢書月報』三三(二〇〇二年二月)、五～六頁。

「地域文化の伝統と宗教(3)」『西洋古典叢書月報』三四(二〇〇二年三月)、五～六頁。

「地域文化の伝統と宗教(4)」『西洋古典叢書月報』三五(二〇〇二年五月)、五～六頁。

「地域文化の伝統と宗教(5)」『西洋古典叢書月報』三六(二〇〇二年六月)、五～六頁。

「ポリュビオスのおもしろさ」『西洋古典叢書月報』五四(二〇〇四年二月)、一～四頁。